

マイスターだより

川西町立小松小学校
令和8年9月10日（金）No.26
文責：情野 夏美

授業づくり講座（算数・数学）に参加してきました！

昨日、（小算数・中数学）全国学力・学習状況調査の結果を活かした指導の改善・充実～指導と評価の一体化を目指して～の講座に参加してきました。国立教育政策研究所 学力調査官 教育課程調査官 小山雅史先生（加瀬先生と同僚だそうです！）のお話を聞いたり、実際の授業を考える演習も行ったりしました。小山先生のお話の中では、実際の学調の問題で、児童のつまずきから授業での手立てを教えてくださいました。詳しくは、今度行う校内研全体会（学調分析）でお話します。

【講演「算数・数学指導の課題と授業改善のポイントについて」】

●カリキュラム・マネジメント＝×計画を作成する

○学校全体で共有・方針をそろえる

●学調を活かした授業づくりについて

児童の実態を捉えるために・・・

問題から課題を明らかにする→課題となる原因を探る→改善方針を見出す
領域の学び方を捉えるために・・・

出題の趣旨から・事象を、数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉える。

- ・ 根拠を基に筋道を立てて考える。
- ・ 統合的、発展的に考える。

【情野のリフレクションより】

Q 特に、どのようなことを学ぶことができましたか？

「方針の共有」という言葉が何度も出てきました。本校ではこれから学調の分析や自分の担当する学年で何ができるかを考える時間を取ります。何を提案するにしても、こちらから目指す方向性を示すにしても、今回の学調のような具体的なものを示して、方針を共有していきたいと感じました。

また、どの研修でも聞かれますが、1時間単位で授業を考え、実施するのではなく、単元全体や系統性を持って教材研究することの大切さを改めて学ぶことができました。教師が、前の学年ではどこまで、どのような学習をしてきたのかを知っているのと知らないのでは、授業づくりが大きく違うなと思います。時間がない中ではありますが、横と縦の教材研究を大切にしていきたいです。

児童に多様な学び方を経験させることも大事だと分かりました。本校の校内研究では、児童に委ねる、任せる時間を設定し、自分で自分の学びを調整する力を養うことを目指しています。研究も大事にしつつ、一斉学習や協働学習とのバランスも考え、それぞれのよさを生かした授業を行っていききたいと思いました。

Q 今回の講座を受講し、明日から、どのようなことに取り組んでいきたいですか？

まずは、研修内容を先生方に報告し、少しでも先生方の役に立てればと思います。また、算数の1～6年の系統表を作り、普段の授業から系統性を意識した授業ができるようにしたいと思いました。また、これから行う学調の分析でも、ただ問題を解いてみるのではなく、今何ができるのかを先生方と一緒に考えたいと思います。

※お忙しいところ恐縮ですが、事前に学調の問題を解いていただけると助かります！